

4 農林水産業の担い手

現 状

- 本格的な人口減少社会を迎え、今後5年程度で多くの農林漁業者がリタイアすることが予想されます。
- 本県は基幹的農業従事者の平均年齢が全国で2番目に若く、平成24年度以降は新規就農者数も高い水準を維持しています。

最近の特徴的な取組

- 若手農業トップランナー塾や若い森林業アカデミー、賓陽塾など意欲あふれる人財の育成
- 農山漁村の「地域経営」を担う人財育成の推進とサポート体制の充実・強化
- 女性起業家のネットワーク化による経営力向上と男女共同参画の推進

今後の推進方向

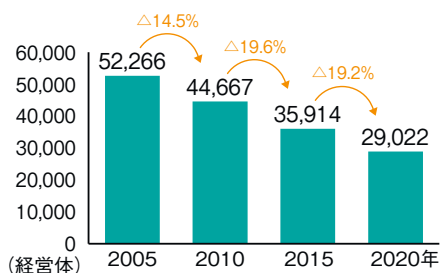
<多様な経営体の育成>

- 高い経営力を持った人財の育成
- 人口減少社会を見据えた「地域経営」の仕組みづくり
- 地域を支える生産基盤の有効活用と組織の体質強化
- 農山漁村の女性が活躍できる環境づくりの推進

農業の担い手

- 令和2年の農業経営体数は29,022経営体で、平成27年と比べ6,892経営体(19.2%)減少しています。
- 一方、株式会社や合同会社といった法人経営体が増加しているほか、経営耕地面積では20ha以上、販売金額では1,000万円以上の経営体は増加しています。
- また、基幹的農業従事者数は48,083人で、平均年齢は65.4歳となっています。高齢化が進行する中で、本県の平均年齢は、全国平均の67.8歳を約3歳下回り、都道府県別では北海道に次いで2番目に低くなっています。

■農業経営体数の推移



■農業経営体の構成

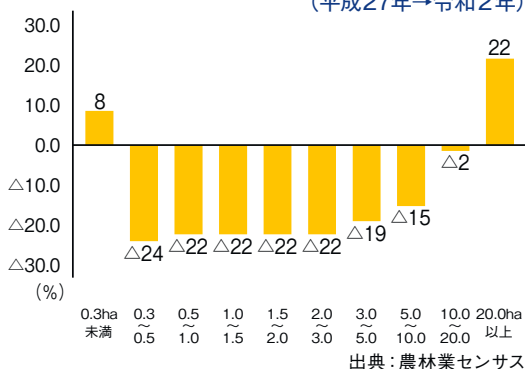
単位：経営体

区 分	農 業 経営体	農 業 経営体		
		個人経営体	団体経営体	うち法人
令和2年	29,022	28,232	790	646
平成27年	35,914	35,037	877	524
増減数	△6,892	△6,805	△87	122
増減率(%)	△19.2%	△19.4%	△9.9%	23.3%

出典：農林業センサス

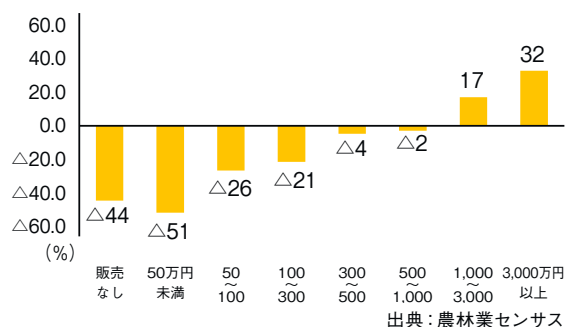
■経営耕地面積規模別農業経営体数の増減率

(平成27年→令和2年)



■農産物販売金額規模別農業経営体数の増減率

(平成27年→令和2年)



■ 基幹的農業従事者数及び平均年齢（令和2年）

区分	合計	男性	女性	15～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上	平均年齢
青森県	48,083	26,576	21,507	6,391	6,255	6,111	29,326	65.4歳
全国	1,363,038	822,144	540,894	147,468	126,902	140,047	948,621	67.8歳
青森県割合	100.0%	55.3%	44.7%	13.3%	13.0%	12.7%	61.0%	
全国割合	100.0%	60.3%	39.7%	10.8%	9.3%	10.3%	69.6%	
全国差(ポイント)		△5.0	5.0	2.5	3.7	2.4	△8.6	

出典：農林業センサス

農業を学ぶ若者たち

- 県内には農業を学べる高校が5校あります。
- 青森県営農大（七戸町）では、高校を卒業した方などを対象に、農業経営者を養成するため2年間の教育を行っています。



営農大（七戸町）オープンキャンパス

がんばる農業者たち

- | | |
|------------|---|
| 経営改善への取組 | ● 生産・販売面の工夫など積極的な経営改善への取組が増加してきています。
● 農業生産法人を設立して企業的な経営に取り組む経営者が増えています。 |
| 女性の能力発揮 | ● 女性が農業生産や加工品づくり、直売活動など多くの分野で活躍しています。 |
| 高齢者の活躍 | ● 野菜や花づくりなどの場面で生き生きと働く人が多くなっています。 |
| 企業等からの農業参入 | ● 株式会社等が農地をリースすることなどで農業経営へ参入することが可能になり、新たな農業の担い手として期待されています。 |

あおもりの農業のけん引者たち

- | | | | |
|-----------------------------------|---------------------|---|----------------|
| 認定農業者 | 令和2年3月末 9,493名 | 農業経営士 | 令和3年12月末 125名 |
| ● 地域農業の担い手として経営改善に取り組んでいます。 | | ● 地域リーダーとしての経営指導や農業実習の受け入れなどの担い手養成を行っています。 | |
| 生活研究グループ | 令和3年4月 49グループ 168名 | ViC・ウーマン | 令和3年4月 262名 |
| ● 農山漁村女性による情報交換、研修会、講演会などを行っています。 | | ● 女性による特色ある地域農林水産業の推進や住みよい地域づくり、社会参画等を進めています。 | |
| 農村青少年クラブ（4Hクラブ） | 令和3年12月末 11クラブ 116名 | 若手農業トップランナー | 令和3年12月末 234組 |
| ● 将来の担い手として技術の向上や交流を行っています。 | | ● 経営力やマーケティング力の向上を図り、自分の夢に向かってチャレンジしています。 | |
| 青年農業士 | 令和3年12月末 181名うち女性6名 | 農業協同組合 | 令和3年4月 総合農協数10 |
| ● 農村青少年クラブ活動に対する指導や地域活動に参画しています。 | | ● 食と農を支える地域社会に根ざした中心的担い手としてリーダーシップを発揮しています。 | |

林業の担い手

林業就業者

林業の担い手は、素材生産や造林保育を行う林業事業体に雇用される林業就業者と林家の自家労働者から構成されています。平成27年の国勢調査による林業就業者は1,792人で長期的に減少傾向にありますが、近年は横ばいで推移しています。

年齢構成割合では、60歳以上の就業者の割合が上昇し、高齢化率が高い状況にありますが、近年は29歳以下の若年層の割合も上昇しています。

森林組合

地域の林業や森林経営の中心的な担い手としてリーダーシップを発揮しています。
森林組合数 12（令和3年4月）

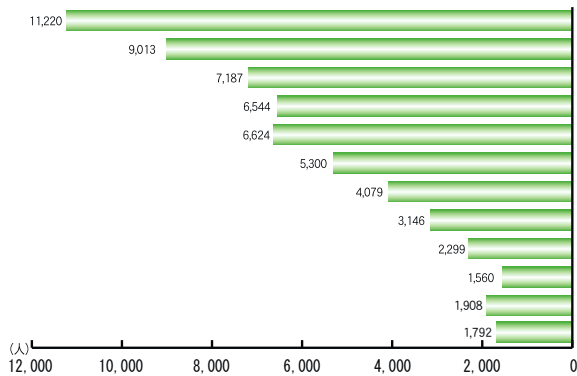
林業の担い手育成

令和3年4月に、就業希望者を対象に、林業に必要な知識や技術の習得を支援し、地域林業の中核を担う現場技術者を確保・育成する1年間の研修として「青い森林業アカデミー」を開講したほか、これまで育成してきた林業作業士等を対象として、高性能林業機械を用いた安全で効率的な作業システムに関する研修を実施し、増加する素材生産作業に対応するための更なる高度な技術と知識を有する林業技術者を育成しています。



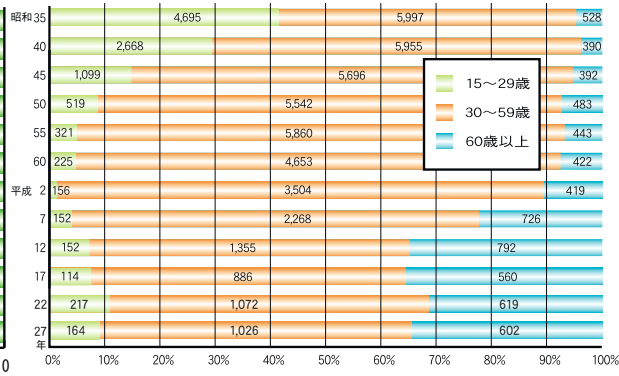
青い森林業アカデミー研修風景

■林業就業者の推移



出典：国勢調査

■林業就業者の高齢化指数(60歳以上)の推移



出典：国勢調査

水産業の担い手

海面漁業就業者数

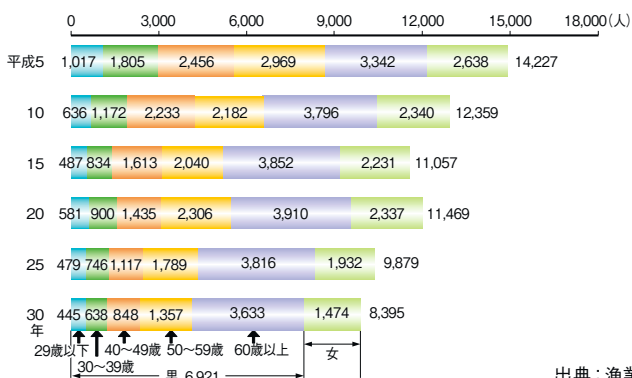
漁業就業者数は8,395人で、全国順位は3位、全国に占める割合は5.5%となっています。このうち自営漁業就業者数は5,470人、漁業雇われ就業者数は2,925人です。

漁業就業者数を男女別にみると、男性は6,921人、女性は1,474人となっています。男性で60歳以上は3,633人となり、52.5%を占めています。

漁業協同組合

漁業の担い手育成や水産資源の維持・増大の管理主体としてリーダーシップを発揮しています。
沿海地区漁協数 44 (令和2年12月)

■男女別年齢別漁業就業者数の推移



出典：漁業センサス

漁業の担い手育成

海の教室「水産教室」の開催

県内の子供たちに水産業のことを知ってもらい、将来の担い手となってもらうことを目指し、漁業者が主体となって漁業体験などを実施しています。

「あおもり漁業体験」の開催

本県漁業の担い手確保に向け、漁業体験教室の開催や、インターンシップの実施によって、あおもり漁業の魅力を発信しています。

ひんようじゅく 寶陽塾での研修

漁師を目指す若者たちに、漁業に関する知識や技術を教える「寶陽塾」を開講しています。

漁業士や女性部の活動支援

漁業に従事する若手漁業者が広い視野、先進的な考え方を身に付けるため水産業普及指導員が中心となって、漁業を支える漁業士や漁村生活の改善活動に活躍している女性部の活動を支援しています。



定置網漁業体験(深浦町)



寶陽塾におけるロープワーク(8月)



地元小学生対象の水産教室(むつ市)